

会 議 録

会 議 の 名 称	平成25年度 新座市子どもの放課後居場所づくり事業 運営委員会（第2回）
開 催 日 時	平成25年11月15日（金） 午前10時から午前11時15分まで
開 催 場 所	市役所第二庁舎5階 会議室5
出 席 者	金子 廣志 長沼 文彦 前川 美樹 高橋 靖子 須田 邦彦 荒井 マサ子 土屋 賢治 中島 栄 藤巻 和司 高野 章 枝村 頼子 安立 美智子 田家 正好 荒井 恵美子 阿保 資江美 山中 一英 森田 和憲 山口 聡 清水 幹明 三上 文子 池田 秋義 計21名
事 務 局 職 員	生涯学習スポーツ課 谷口副課長、富樫主査、藤田主事、古田土主事
会 議 内 容	1 開会 2 挨拶 3 議事 （1）新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について （2）平成26年度新規開設校について （3）その他 4 閉会
会 議 資 料	・次第資料 ・委員名簿 ・石神ココフレンドだより、新堀ココフレンドだより

その他の 必要事項	特になし
審 議 の 内 容 (審議経過、結論等)	
<p>1 開会 (古田土主事)</p> <p>2 挨拶 (金子教育長)</p> <p>報告 (古田土主事) 放課後児童保育室の齋藤規容子様が都合により委員を辞退されたため、新たに石原志穂様が就任された。</p> <p>3 議事 (説明：富樫主査)</p> <p>(1) 新座市子どもの放課後居場所づくり事業運営状況について (資料1・資料2に基づき説明。) 全体的に登録率は児童数の5割前後となった。また、低学年の登録率が高く、1年生は7割を占める。 1学期は毎週新規登録がある状況だったが、2学期に入ってから落ち着いた。 東野ココフレンドでは、参加児童数が日に100人を超える日もあった。 10月～1月は終了時間が午後4時30分となるため、参加児童の減少を見込んでいる。</p> <p>(資料3・資料4に基づき説明。) 緊急時等の連絡方法として、市ホームページ・モバイルサイトにココフレンドのページを設けた。緊急の連絡がある際は、「緊急連絡」の欄に掲載する。 また、ホームページよりも迅速に情報発信できる手段として、ツイッターも開設した。まだ認知度は低く、フォロワー数(登録件数)は60件である。</p> <p>(資料5に基づき説明。) 石神小学校・東野小学校で昨年度実施したアンケートを今年度も実施した。設問1～5は昨年度と同じ設問とし、設問6・7は今年度新たに設けた。回収率は、昨年度の83%と同程度の81%であった。 回答の内容は、概ね昨年度と同様の結果となった。詳細はグラフのとおりである。 保護者への連絡方法で知っているものを問う設問6については、月1回程度発行しているココフレンドだよりが一番多く、今年度から始めたホームページやツイッターは認知度の低さがうかがえた。 活動時間について問う設問7については、8割強の保護者が現在のままでよいとの考えであることがわかった。 意見・感想としては、本事業に対する好意的な意見が多数であったが、システムの変更を提起するものや冬時間の延長を希望する意見もあった。</p>	
須田 山口	ココフレンドと学童と重複登録している児童はどれくらいいるのか。 先日学童の現場に行って確認してきたところ、4校共に10人～20人

で推移しており、その中でよくココフレンドに参加している学童は数人であるとのことであった。

委員長 学童とココフレンドの住み分けができているということではないだろうか。

両親がフルタイムで働く家庭の子は学童に、パートタイム等で働く家庭の子はココフレンドに登録しているということだと思う。

東野ココフレンドは、参加児童が100人を超える日もあるようだが、運営しているの課題等はあるか。

田 家 6月平均70人、7月平均67人、9月平均50人、10月平均40人と昨年度に比べ、参加児童数が多い。

6月28日に児童切り付け事件の情報があり、学校は一斉下校や集団下校を行ったが、ココフレンドは通常どおり活動し、また懇談会も行われていたため、参加児童は100人を超えた。

7月8日の夕方は雷も鳴る大雨であった。54人の児童がスタッフルームにおり、手いっぱいであったため、生涯学習スポーツ課に相談したところ保護者に迎えの電話連絡をしてほしいと言われた。ココフレンドの電話は1本しかなく、連絡は不可能であった。最終的には保護者同士で連絡を取り合っただけことができ、無事に子どもたちを帰すことができたが、保護者からの問い合わせがココフレンドではなく学校に入っていたと後日教頭から言われた。

委員長 自然災害や事件等に対応するためのマニュアルを作る必要があると思うが生涯学習スポーツ課長はどのように考えるか。

池 田 6月28日の事件後、ある程度のマニュアル化が必要であるということで、簡略的なものではあるが、マニュアルを作成し、各ココフレンドに渡している。

ココフレンドの説明会では、原則お迎えであることを伝えているが、実際に迎えに来る保護者は少ないと担当から聞いている。

田家・阿保・土屋 東野・石神・東北ココフレンドは、お迎えに来る保護者は数人である。

高 野 新堀ココフレンドは、3割前後のお迎えがある。

委員長 原則お迎えにしているが、突発的な事故や災害、不審者等も考えられる。このような時には保護者になるべく迎えに来てほしいため、生涯学習スポーツ課の方で必要な整備を検討させていただく。

阿 保 たまに参加する子の中に危険な遊びをする子がいて心配していたが、2学期になって落ち着いている。子どもがけがをした時、養護教諭の手が空いていれば診てもらえることがあり、助かっている。子どもも養護教諭に診てもらえるだけで安心するようである。

石神ココフレンドはなかよしホールを活動場所として使わせてもらっているが、研修や会議で使われることもよくある。12月は書き初めの練習があるため、3週間くらい使えない。活動場所がころころと変わると子どもたちも戸惑う。来年度の新規校はココフレンド専用で使える部屋があった方が良く思う。

委員長 所沢市では、体育館の卓球をする場所でココフレンドと同様の事業をやっている。

活動場所ではなかなか苦勞しているようである。ココフレンドは、ある意味隙間で子どもたちを預かっている。学校にも迷惑を掛けないようにやりたいと思っている。

池 田 学校施設をお借りして実施している事業であるため、各ココフレンドによって条件が異なる。全ての学校にココフレンドを開室するという考えであるので、条件の良くないところもあると思うが、各ココフレンドで創意工夫をしてもらいたいと思っている。

土 屋 資料19ページの保護者の意見の中に、「冬時間は活動時間が短いので、ココフレンドに参加したくない」という意見もある。東北ココフレンドは、午後4時20分に終了するため、高学年が午後4時にココフレンドに来ると遊べる時間がほとんどない状況である。
夏の活動時間については問題ないようである。

池 田 昨年度のアンケートにも同様の意見があったため、今回設問7を設けたが、全体の結果では8割強が今現在のままで良いという意見であるので、そちらを優先させた方が良いと思っている。冬は午後4時30分で暗くなっていく。冬も終了時間を午後5時にするならお迎えの徹底が必要である。しかしながらお迎えが少ない現状では、午後5時までにするのは難しい。

森 田 不審者情報もあるため、冬時間を延ばす場合は保護者の迎えを徹底するとともに、パトロール等をしなければ危険だと思う。

池 田 協力依頼が大前提だと思う。

田 家 東野ココフレンドは午後4時25分まで活動している。通常は15分前に活動を切り上げて帰る支度をさせているが、少しでも遊びの時間をとるために25分までにしてしている。午後4時30分に帰れるように支度することを条件としており、子どもたちも約束をきちんと守っている。

30分に終了し、45分には下校しているが、外はまだ暗くなっていない。

15分でも子どもたちにとっては長い。終了時間を延長するのではなく、活動時間を延ばすようにすると多少良いと思う。

土 屋 10月は午後5時30分でも明るいため、午後4時30分に帰すのはもったいないため、この辺りを柔軟にしたい。

阿 保 雨天時はとても暗くなるため、早めに帰すようにしている。冬時間の期間は活動時間が短いため、遊びの時間を延ばしてあげたりしている。

田 家 体育館や校庭は、6時間目の授業で使う予定がない場合、使わせてもらっている。

池 田 各ココフレンドでの対応のほかに、冬時間の期間については、これから検討させていただく。

土 屋 午後4時30分まで活動しても良いか。

池 田 活動していただいてもかまわない。

(2) 平成26年度新規開設校について

(資料6に基づき説明。)

第4次新座市基本構想総合振興計画に基づき、実施校の拡大を図るものとして、新規開設校の選定を進めた。選定に当たり、①スタッフルームとして1教室又は教室の一部を借用できること、②子どもたちの活動場所として開放できる教室等があること、③長期休業期間中、校庭や体育館が半日程度使用できることを条件とした。

また、中学校区のバランスや学童入室率も考慮し、第四小学校（第三中学

校区・入室率133%)と野寺小学校(第五中学校区・入室率112%)を候補とした。

委員長 学校との調整は進んでいるのか。

事務局 野寺小学校については、校長からも快く承諾を頂いている。

第四小学校については、今後の調整が必要である。調整を重ねながら進めるということで承諾を頂いている。

前川 第四小学校の保護者として、ココフレンドが開室できれば嬉しい。第四小学校では、懇談会時に3歳～小学2年生を預かる保育ボランティアを行っているが、90名預かる時もある。

山口 保育課では、毎年、第四小学校の学童の大規模化を解消してほしいとの要望を頂いている。71人以上の在籍がある学童を大規模化と捉えており、第四小学校でココフレンドを開室してもらえるとありがたい。

委員長 第四小学校の学童を校舎外に建てることは難しいのか。

山中 現状では難しい。

委員長 では事務局の挙げた候補校で進めて良いか。

委員 異議なし。

(3) その他

次回会議は来年3月下旬を予定している。

平成26年度の運営委員会については、5月中旬に第1回目の会議を開催し、5月下旬から新規開設校の事業開始を予定している。

4 閉会(古田土主事)